

美唄ロータリークラブ 創立50周年記念式典・祝賀会を終えて

美唄ロータリークラブ2022-23年度会長 大坪誠治

2023（令和5）年3月12日（日）に美唄市民会館において、美唄ロータリークラブ創立50周年記念式典ならびに祝賀会を挙行いたしました。この50周年に会長職を任命されたのも何かの「ご縁」と光栄に思っております。

当日は、石丸ガバナーをはじめ、安孫子パストガバナー、嵯峨パストガバナー、上村ガバナー地区補佐幹事、松下第3グループガバナー補佐、ならびに多くのロータリアンの皆様のご臨席を賜り、会員一同心より感謝申し上げます。特に岩見沢ロータリークラブ様には、50年に渡り公私とも美唄ロータリークラブを見守り導いていただけたことに、心よりお礼申し上げます。

永井実行委員長を中心に早くから準備を始め、何度も会議を重ねましたが、やはり前の日リハーサルでは、いろいろな問題が提示され、当日開始まですごく心配でしたが、多くの皆様のご出席と温かいご協力が無事終了することができました。

さて、美唄ロータリークラブは、岩見沢ロータリークラブ様がスポンサークラブとなり、地区50番目のクラブとして、1973（昭和48）年5月31日に創立し、同年6月7日に国際ロータリークラブに加盟を承認され、初代若松不二夫会長以下25名で誕生いたしました。

その後、会員数が50数名まで伸びた時期もありましたが、新入会員の減少と会員の退会ならびに既存会員のご逝去などがあり、現在は17名で活動しております。少数ではありますが、会員相互が親睦と友情の和で結ばれ、非常に温かいクラブであると思っております。

記念式典は、点鐘に始まり、ご来賓の皆様のご紹介、過去10年の物故会員に対する黙祷、坂東美唄市長ならびに石丸ガバナーによるご祝辞をいただいた後、会長である大坪からの挨拶（非常に緊張しました！）、スポンサークラブ表彰、歴代会長・幹事表彰、永年在籍表彰（20年以上）、美唄市への記念品贈呈と粛々と進み、最後に点鐘で無事終了いたしました。これで、まずは「右の肩の荷」が下りました。





次に、同会場にて祝賀会が開催されました。ちょうど国の方針で、次の日からマスク装着は自己判断となる時でしたが、前倒して解禁といたしました。

祝賀会では、美唄名物の「焼き鳥」、「とり飯」、そして美唄の「匠の会」のメンバーにご協力いただき、おいしい「蕎麦」を提供させていただきました。参加された皆様が口を揃えて「おいしい！」といただき、お世辞でもわれわれにとっては非常にうれしいお言葉でした。会の途中では、美唄（茶志内）出身のバイオリニストの杉田知子さんと札幌のピアニストの矢崎有佳さんに、素敵なバイオリンとピアノの演奏をしていただきました。これまでの緊張が薄れるとともに、心が洗われた気持ちになりました。ちなみに杉田さんは私の飲み友達です（笑）



祝賀会も無事終了し、参加された皆様から「よかったよ！」と声をかけていただき、これで「左の肩の荷」が下り開放されたと思いきや、石丸ガバナーから「これは、ガバナー月信にぜひ載せてくださいね～」とお声をいただき、また両肩が重くなりました（冗談です！）

最後になりますが、この度の美唄ロータリークラブ創立50周年記念式典ならびに祝賀会にご出席いただいたロータリアンの皆様に御礼を申し上げますとともに、第2510地区のすべての会員のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、この度の記念式典と祝賀会の報告とさせていただきます。

